

人権推進部だより



10月28日発行
西条東中学校
PTA 人権推進部

いつも人権推進部の活動に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。

今回は、9月24日に行われた人権・同和教育校内研修会で授業を受けた生徒の感想と、8月7・8日に行われた西条市中学生人権・同和教育現地研修会に参加した生徒の感想を紹介いたします。

生徒たちが実際に学び、感じ取ったことを御家庭でもぜひ話題にしていいただければ幸いです。

人権・同和教育校内研修会



1年生「決心」を学習して

- 私は加害者にも傍観者にもなりたくありません。人は一言でも傷付くことがあります。私は人のことをよく考えて生活していきたいです。
- いじめが起きると加害者が悪いとなるが、周りで何もしていない傍観者も加害者と同じだと学んだ。誰かに相談するなど、いじめをなくしていきたい。いじめのないクラスにしていきたい。みんなおなじ気持ちで生活していかないといけないと思う。まずは、自分がいじめない、学級目標を意識して生活していこうと思う。

2年生「汚染一揆」を学習して



- 自分たちの人権が守られて、過ごせているのは、これまでたくさんの人が行動してきたからなのだと知った。時代によって、差別の在り方は変わっていくが、おかしいと感じたことは「おかしい」とちゃんと発言していかなければならないと思った。
- いろいろな差別の現状を知り、それがどんなに差別されてきた人々を苦しめたのか、自分なりに考えた。まずは身近な人に伝えていくことが差別を解消するための第一歩だと考える。まずは知ることが大切だと思った。それからどのように行動するか考えることが良いと思った。

3年生「ぬくもり」を学習して

- 自分自身の差別心に気付くこと、自分から動くことが一番大切です。自分自身で気付くことが、いじめや差別をなくしていく第一歩です。口だけで「直していく」「なくしていく」と言うことは簡単だけれど、実際に行動に移すことが重要だと思いました。人を待つのではなく、自分から行動していきたいです。



- 差別はみんな一人一人がしないように意識しないと、無くなならないと思いました。自分は関係ないと思うのではなく、自分も気付かないうちに差別をしているかもしれない、と考えて行動することが大切だと感じました。世間の考え方にとらわれず、正しい行動をして、差別に対して正しい知識を持とうと思います。

中学生現地研修会に参加して

8月7・8日、本校2年生8名が西条市中学生人権・同和教育現地研修会に参加しました。水平社博物館、舩松人権歴史館を訪問し、同和問題について部落解放の歴史、実際に差別を受けてきた方のお話を聞き、学習を深めました。生徒の感想を紹介します。



○ 部落差別について、何もしていないのに、生まれた時から差別の対象になることはとてもむごく、このような差別を次の世代に絶対に残してはいけなと思いました。「寝た子を起こすな」という言葉がありますが、勉強しないと必ず繰り返されてしまい、差別の根本的な解決にはつながらないと感じました。

○ 実際に差別を受けた方の話を聞いて、差別は絶対にしてはいけないと改めて感じました。まず、自分がしないこと、周りの差別心をなくしていけるように、自分から進んで行動していきたいです。今回の研修で学んだことを周りの人に話していきます。

○ 今まで部落差別について本当に何も知らなかったことに気付きました。自分の中で「差別」や「人権」は少し遠い存在に思えたけれど、今日実際に差別を受けた方の話を聞いて、差別は身近にあるものだと感じました。絶えず新たな知識を身に付けていき、無知・無関心をゼロにしていきたいです。



○ 今回の研修で部落差別が今もなお続いていること、部落差別解決にたくさんの人が立ち上がり、関わったことを知ることができました。そして人権が自分の身の回り、例えば友人関係でも関わっていることを知りました。学んだことを多くの人に広めていきたいです。

○ 実際に差別を受けた方の話を聞き、もし自分が差別されたらと考え、とても心が痛みました。差別をなくすためにも、この日学んだことを大切にし、自分にできることから始め、周りの人に伝え行動していきたいです。



○ 今まで部落問題を学習してきて、心のどこかで本当なのかな、と思っている自分がいました。今回、差別を実際に受けた方の話を聞いて、言葉にできないほど驚きました。本当に差別は残っているのだと実感しました。そして、なくしていかななくてはならないと、強く思いました。

○ 部落差別がどういうものなのか学びました。生まれた場所によって、ここまでひどい差別を受けなくてはならないのか、と思いました。水平社博物館では「水平社宣言」を学び、実際に行動することで差別が減ってきていることを知りました。自分も学んだことを伝えていき、差別をなくせるよう行動していこうと思いました。

○ 差別をしている人は、自分が悪いことをしている自覚がないと思います。自分は絶対にしないように注意していきたいです。また、差別を行ってはいけないということを、周りの人に広めていくべきだと思います。一人でも差別に悩む人を減らしたいと思います。